

# 環境部各課の事業報告について

---

令和2年1月23日(木) 14時から  
前橋市役所3階 31会議室



# 環境部各課の事業報告について

1. 環境政策課  
CSF(豚コレラ)に係る野生イノシシの捕獲強化策について
2. ごみ減量課  
台風19号災害における災害廃棄物処理の被災地支援(茨城県大子町、  
栃木県佐野市)について
3. 廃棄物対策課  
廃棄物処理法の許認可事務、不法投棄者の特定について
4. 清掃施設課  
前橋市六供清掃工場延命化工事と環境負荷低減について
5. 清掃施設整備室  
前橋市最終処分場について



# 環境部各課の事業報告について

## 1. 環境政策課

CSF(豚コレラ)に係る野生イノシシの捕獲強化策について

## 2. ごみ減量課

台風19号災害における災害廃棄物処理の被災地支援(茨城県大子町、栃木県佐野市)について

## 3. 廃棄物対策課

廃棄物処理法の許認可事務、不法投棄者の特定について

## 4. 清掃施設課

前橋市六供清掃工場延命化工事と環境負荷低減について

## 5. 清掃施設整備室

前橋市最終処分場について



# CSF(豚コレラ)に係る野生イノシシの捕獲強化策

## 捕獲強化の目的

昨年10月4日以後、藤岡市などで野生イノシシのCSF(豚コレラ)への感染が複数確認された状況を踏まえ、CSF(豚コレラ)の感染拡大の一因とされる野生イノシシ対策として、より実効性の高い捕獲強化策を実施することにより、感染拡大リスクの低減を図る

## 対応策

## 実施事業

- 強化策① 有害鳥獣捕獲補助金上乘せ措置
- 強化策② 捕獲わなの増設
- 強化策③ ICT捕獲機材導入対策
- 強化策④ 鳥獣保護区内での捕獲強化の実施

# CSF(豚コレラ)に係る野生イノシシの捕獲強化策

## ■ 実 施 事 業 ■

### (1) 有害鳥獣捕獲補助金上乘せ措置

- 目的 イノシシの捕獲活動に対する実行性を高めるため、捕獲に係る補助金額を上乘せ

- 内容 ①補助額 当初：10,000円／頭

内訳 

国補助：8,000円	市費：2,000円
------------	-----------



**変更後：20,000円／頭**

内訳 

国補助：8,000円	県補助：8,000円	市費：4,000円
------------	------------	-----------

- ②11月15日～翌年2月29日までの狩猟期間における捕獲見込頭数 150頭

### (2) 捕獲わなの増設

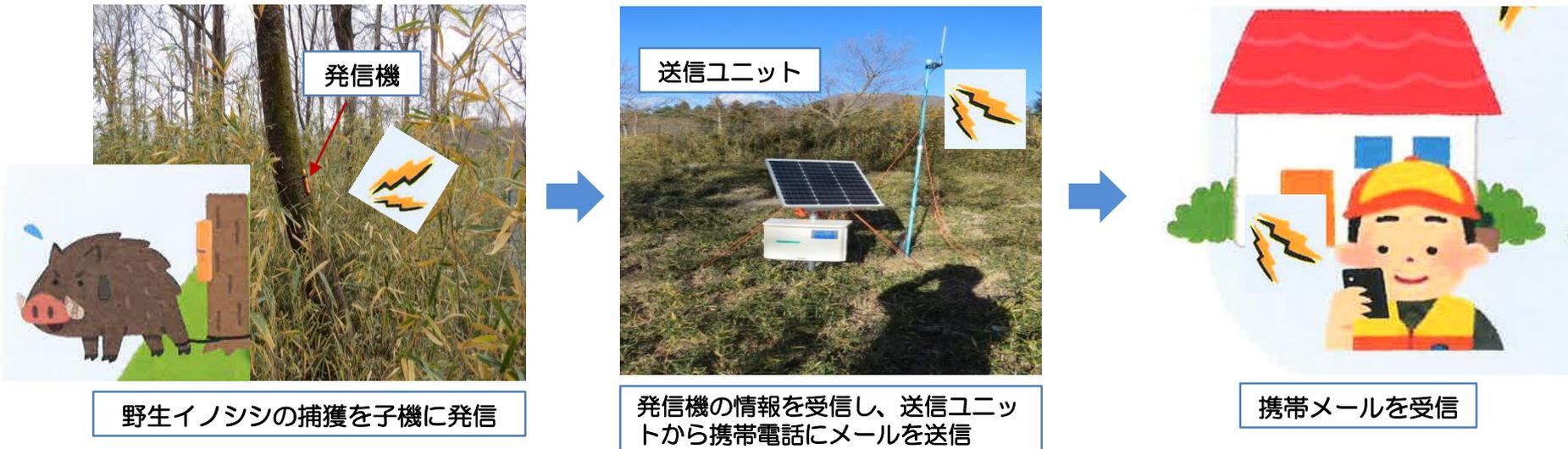
- 目的 被害の恐れのある場所などに捕獲わなの設置個数を増やすことにより、捕獲数の増大を図る
- 内容 くくりわな **100個増設**

# CSF(豚コレラ)に係る野生イノシシの捕獲強化策

## 実施事業

### (3) ICT捕獲機材導入対策

- 目的 猟友会による見回り活動の負担軽減を図る
- 内容 **ICT捕獲システム一式を試験的に一部導入**



### (4) 鳥獣保護区内での捕獲強化の実施

- 目的 通常は禁猟である鳥獣保護区で野生イノシシの捕獲強化を図る
- 内容 猟友会の協力による保護区での銃器による巻狩りの実施及びわなの設置

●前橋市域 - 水色枠内

●鳥獣保護区 - ピンク色枠内

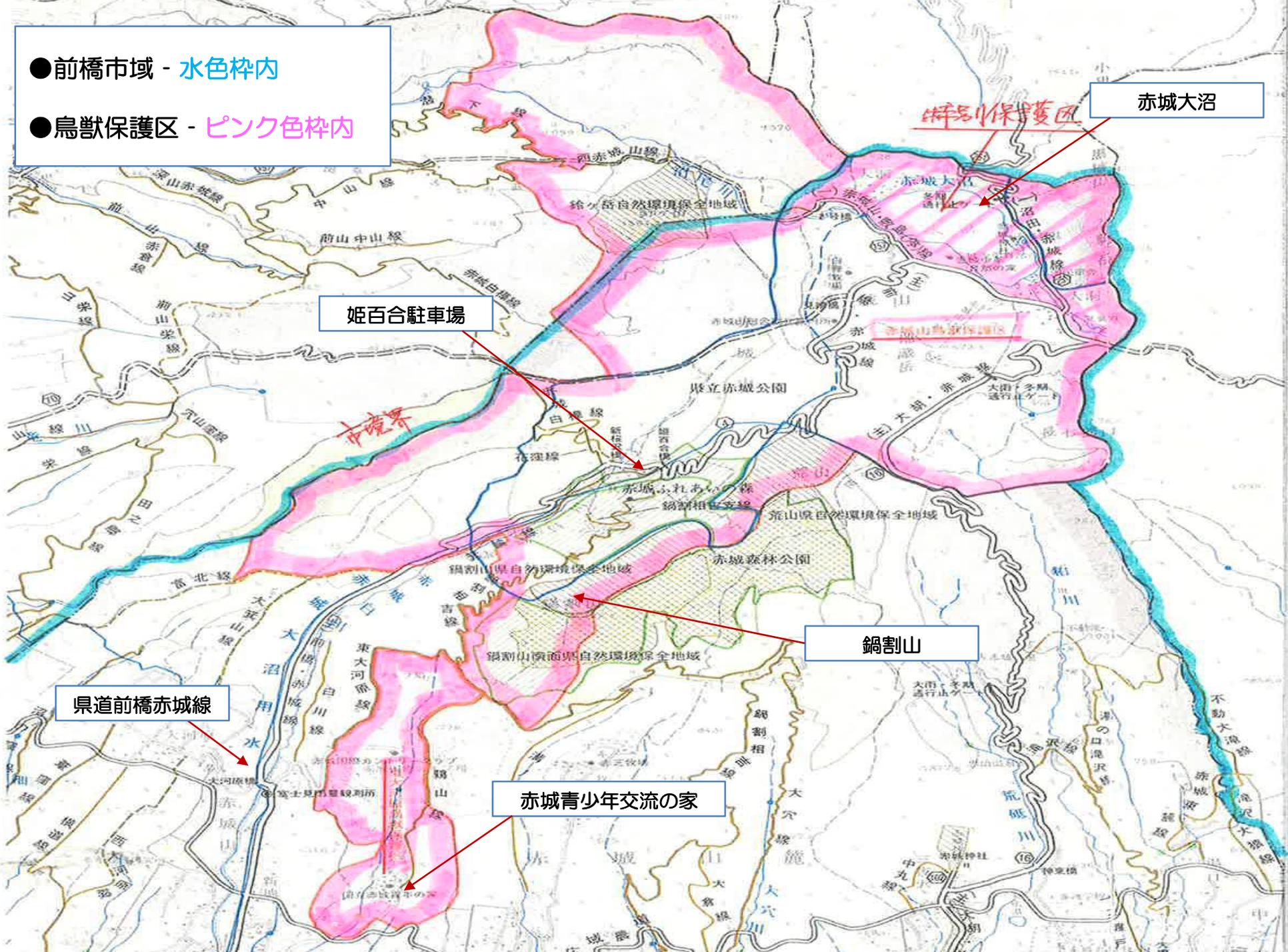
赤城大沼

姫百合駐車場

鍋割山

県道前橋赤城線

赤城青少年交流の家



# 環境部各課の事業報告について

1. 環境政策課  
CSF(豚コレラ)に係る野生イノシシの捕獲強化策について
2. **ごみ減量課**  
**台風19号災害における災害廃棄物処理の被災地支援(茨城県大子町、  
栃木県佐野市)について**
3. 廃棄物対策課  
廃棄物処理法の許認可事務、不法投棄者の特定について
4. 清掃施設課  
前橋市六供清掃工場延命化工事と環境負荷低減について
5. 清掃施設整備室  
前橋市最終処分場について



# 台風19号災害における災害廃棄物処理の被災地支援 (茨城県大子町、栃木県佐野市)

## ■被災地支援の概要■

派遣先	派遣者	期間	支援内容
茨城県大子町	ごみ減量課 1名	10月20日から 10月24日まで (計5日間)	災害廃棄物仮置場管理 (分別案内、交通整理等) 消毒薬品配布 (消石灰・消毒液)
栃木県佐野市	ごみ減量課 32名	11月 5日から 11月30日まで (計12日間)	災害廃棄物収集運搬 (可燃ごみ、小型家電、 テレビ)

# 台風19号災害における災害廃棄物処理の被災地支援 (茨城県大子町)

---



災害廃棄物仮置場の様子

# 台風19号災害における災害廃棄物処理の被災地支援 (栃木県佐野市)



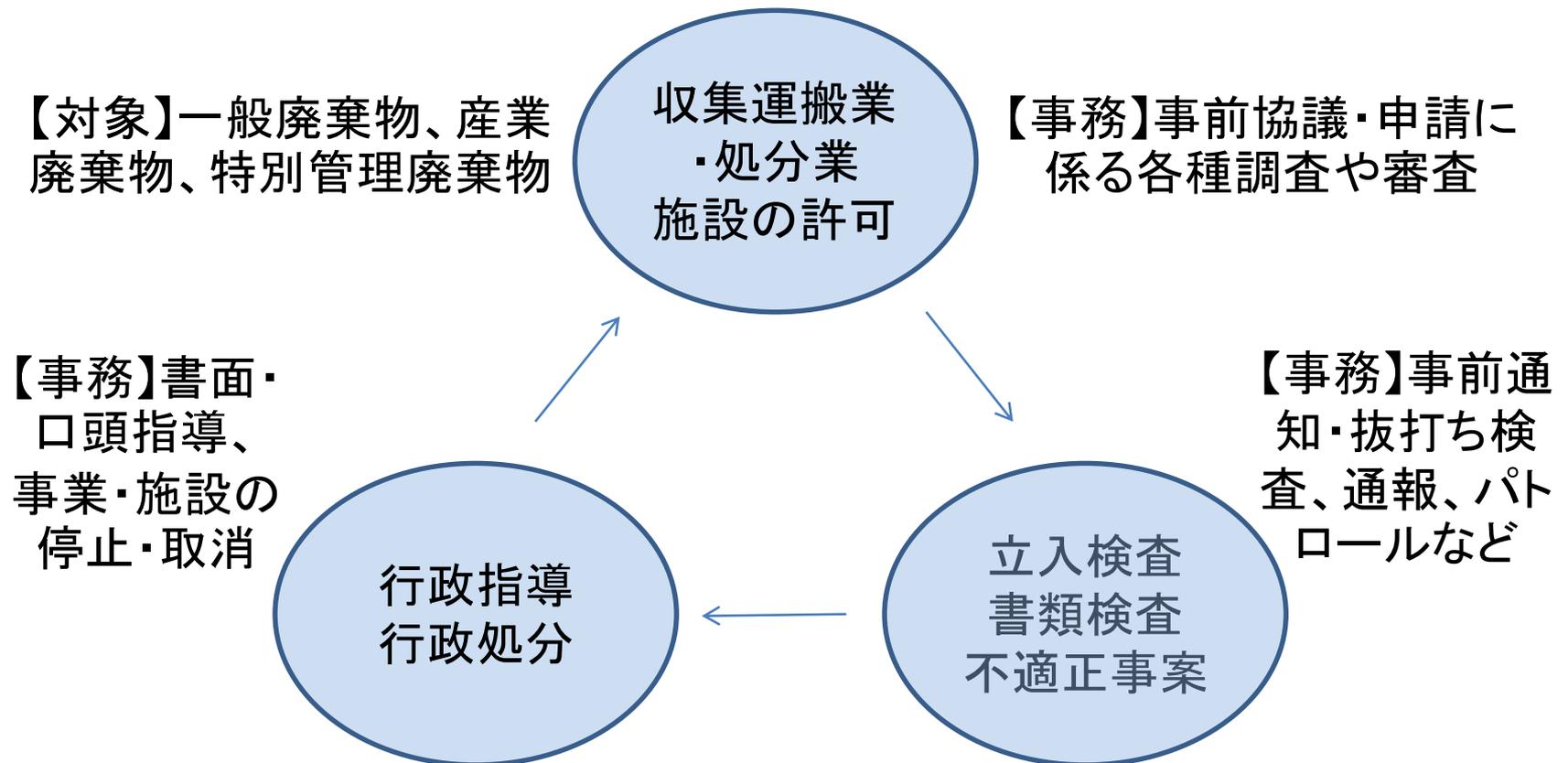
災害廃棄物収集運搬の様子

# 環境部各課の事業報告について

1. 環境政策課  
CSF(豚コレラ)に係る野生イノシシの捕獲強化策について
2. ごみ減量課  
台風19号災害における災害廃棄物処理の被災地支援(茨城県大子町、  
栃木県佐野市)について
3. **廃棄物対策課**  
**廃棄物処理法の許認可事務、不法投棄者の特定について**
4. 清掃施設課  
前橋市六供清掃工場延命化工事と環境負荷低減について
5. 清掃施設整備室  
前橋市最終処分場について



# 廃棄物処理法の許認可事務



※廃棄物処理法のほか、自動車リサイクル法、PCB特措法、土砂条例の許可等の事務を実施

# 不法投棄者の特定

監視カメラ



車両ナンバーから行為者を特定  
2019年1月～11月 9件

# 環境部各課の事業報告について

1. 環境政策課  
CSF(豚コレラ)に係る野生イノシシの捕獲強化策について
2. ごみ減量課  
台風19号災害における災害廃棄物処理の被災地支援(茨城県大子町、栃木県佐野市)について
3. 廃棄物対策課  
廃棄物処理法の許認可事務、不法投棄者の特定について
- 4. 清掃施設課**  
**前橋市六供清掃工場延命化工事と環境負荷低減について**
5. 清掃施設整備室  
前橋市最終処分場について



# 前橋市六供清掃工場延命化工事と環境負荷低減

## 1 六供清掃工場延命化工事の概要

### (1) 工期

平成28年6月から令和2年3月まで（4ヶ年）

### (2) 工事の主目的

低下していた焼却能力を当初の処理能力である405トン／日まで回復させる。

※最新型の火格子（ハイパー火格子）への変更や焼却炉の水・空冷壁を増設することで高カロリー化にも対応。

## 2 延命化工事後の環境負荷低減

### (1) 排ガス処理基準

下増田町に建設を予定していた新清掃工場と同等の排ガス処理能力とした。

※NOX対策として、新たに触媒脱硝装置を追加

項目	単位	法定基準	設備能力値	
			延命化工事前	延命化工事後
ばいじん	g/m <sup>3</sup>	0.08 以下	0.03 以下	0.01 以下
硫黄酸化物	mg/l	1,815 以下	50 以下	20 以下
窒素酸化物	mg/l	250 以下	125 以下	50 以下
塩化水素	mg/l	430 以下	200 以下	30 以下
ダイオキシン類	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	1 以下	0.5 以下	0.05 以下

# 前橋市六供清掃工場延命化工事と環境負荷低減

## (2) CO<sub>2</sub>削減

延命化工事前との比較でCO<sub>2</sub>削減率30.5%

CO <sub>2</sub> 削減率	30.5%
主な方策	蒸気タービン発電機を1,889kW/h から 2,400kW/hへ増強
	ごみ・灰クレーンのインバーター化
	高効率電動機の採用

※CO<sub>2</sub>削減率については、廃棄物処理施設の基幹的設備改良マニュアルに基づき算定

## 3 延命化工事後の本市のごみ処理体勢について

### (1) ごみ処理体勢

六供清掃工場延命化工事により焼却能力が回復すること、また、本市の可燃ごみ量が減少していることから、亀泉清掃工場及び大胡クリーンセンターを令和元年度末で閉場し、令和2年度から可燃ごみの処理については六供清掃工場のみでおこなう。

なお、大胡クリーンセンターは令和元年9月末、亀泉清掃工場は令和2年1月中旬でごみの焼却を終了している。

### (2) 市民ごみ受入のための施設整備

亀泉清掃工場及び大胡クリーンセンターの閉場に伴い、六供清掃工場に市民等の直接搬入ごみを受け入れるためのプラットホーム棟及び受付棟（計量機）の整備をおこない、令和2年4月当初からごみの受入を開始する。

# 前橋市六供清掃工場延命化工事と環境負荷低減

## ●市民ごみ受入施設



外観（東側より）



受付棟



外観（西側より）



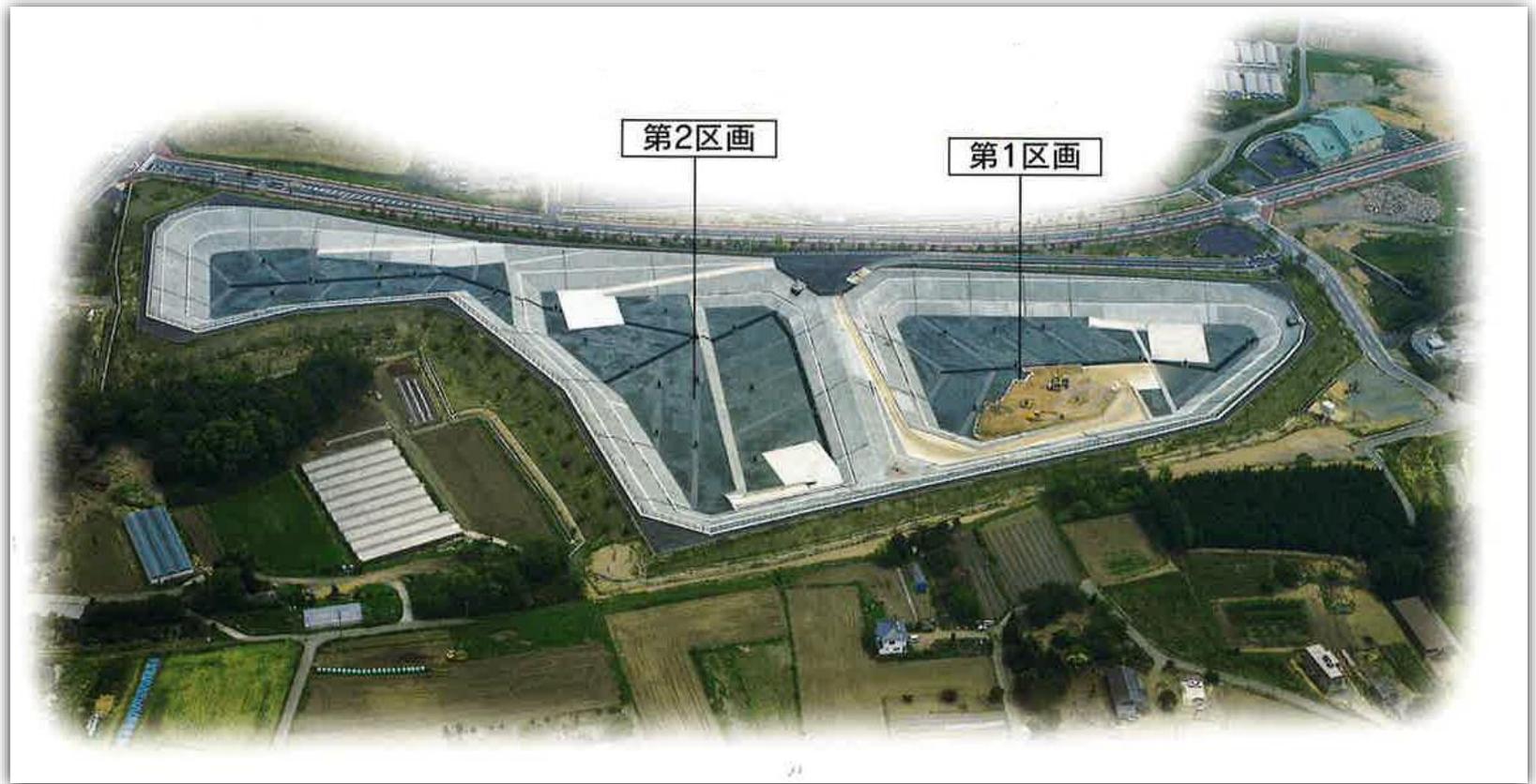
プラットホーム棟

# 環境部各課の事業報告について

1. 環境政策課  
CSF(豚コレラ)に係る野生イノシシの捕獲強化策について
2. ごみ減量課  
台風19号災害における災害廃棄物処理の被災地支援(茨城県大子町、栃木県佐野市)について
3. 廃棄物対策課  
廃棄物処理法の許認可事務、不法投棄者の特定について
4. 清掃施設課  
前橋市六供清掃工場延命化工事と環境負荷低減について
- 5. 清掃施設整備室**  
**前橋市最終処分場について**



# 前橋市最終処分場



# 前橋市最終処分場

---

## ■現在の埋立量■

### 平成30年度実績

- ・前橋市最終処分場

8,326m<sup>3</sup>/年

58.31%(埋立率)

- ・富士見最終処分場

1,775m<sup>3</sup>/年

76.74%(埋立率)

# 前橋市最終処分場

## H29. 8 最終処分場施設整備方針を策定

最終処分場の残余年数の予測。

- ・前橋市最終処分場が令和12年度まで
- ・富士見最終処分場が令和7年度まで



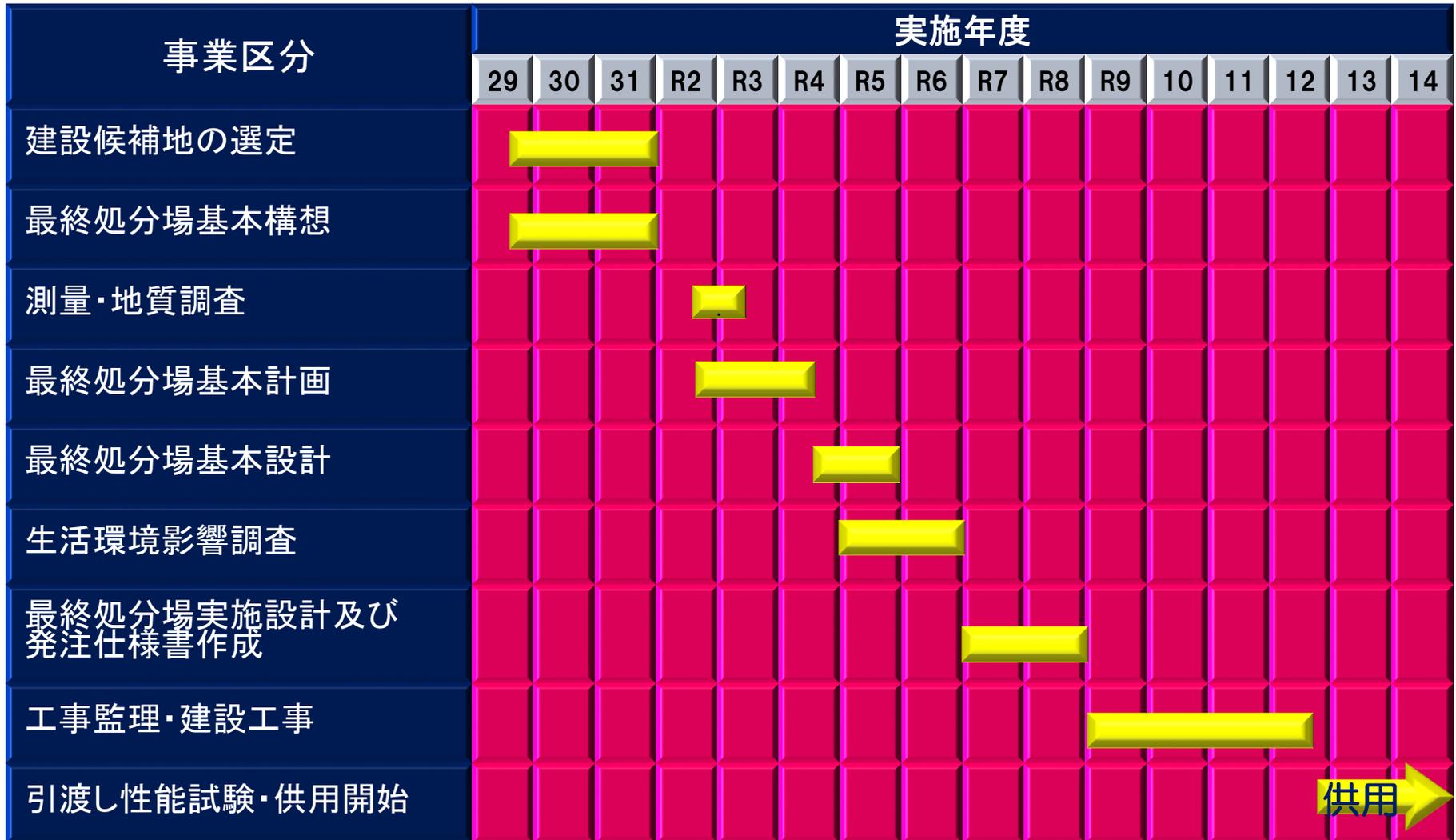
新最終処分場の必要性

- ①市町村の責務
- ②国の方針
- ③他市町村の状況
- ④自区域内処理の原則

## R2. 3 新最終処分場基本構想を策定予定

# 前橋市最終処分場

## 事業スケジュール



# 前橋市最終処分場

## 公募結果

(1)応募件数9件 (2)情報提供0件  
公募の内訳

No	応募地	応募面積	応募者数	応募地の概況・地目	評価点
①	芳賀地区No1	約3.2ha	9名	緩い傾斜のある田、畑、山林	①83.94
2	芳賀地区No2	約2.5ha	7名	緩い傾斜のある田、畑	71.06
③	芳賀地区No3	約5.6ha	23名	緩い傾斜のある宅地、畑、山林、保安林、雑種地	③77.86
4	桂萱地区	約1.8ha	1名	緩い傾斜のある山林、雑種地	73.26
⑤	宮城地区	約1.7ha	7名	緩い傾斜のある田、畑	②78.04
6	富士見地区No1	約2.3ha	10名	緩い傾斜のある宅地、田、畑	74.56
7	富士見地区No2	約2.3ha	6名	緩い傾斜のある田、畑、山林	68.84
8	富士見地区No3	約1.9ha	1名	緩い傾斜のある宅地、畑	70.48
9	富士見地区No4	約5.1ha	1名	傾斜のある保安林	64.86



上記の9件を「立地特性」「生活環境」「自然環境」「災害危険」の観点から評価

評価点の高いNo.1、No.3、No.5を二次選定候補地(R. 元. 8)



3件を「地元自治会の意向」や「事業費等の経済性」の観点を加えて評価

R2. 3 建設候補地を決定

